

経過概要

第77回全国労働委員会連絡協議会総会は、令和4年11月17日（木）から18日（金）にかけて、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにおいて、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約480名の参加者により開催されました。

17日には、岩村正彦全国労働委員会連絡協議会会長（中労委会長）の開催挨拶、小林洋司厚生労働審議官の厚生労働大臣挨拶代読後、規約により岩村会長が議長となり、公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に畠山稔委員（中労委）、労働者側副議長に芹沢秀行委員（神奈川）・宮崎辰弥委員（長崎）、使用者側副議長に高橋伸和委員（奈良）・森脇健二委員（島根）がそれぞれ指名されました。

続いて、荒木尚志運営委員長（中労委・公）から前回総会以降の運営委員会の審議経過、労働委員会在り方・ビジョン検討小委員会中間報告についての説明が行われ、了承されました。また、田畑一雄全国労働委員会連絡協議会事務局長（中労委事務局長）から、労働委員会の活動状況についての報告が行われました。

続いて議題審議に入り、第一議題として「労働委員会の広報活動について」（中国ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

原 市（島 根・公）

意見発表

福田 恵巳（佐 賀・公）

伊藤 香（香 川・労）

小野 秀人（秋 田・使）

18日には、第二議題として「労働委員会在り方・ビジョン検討小委員会の中間報告について」（中労委提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

両角 道代（中労委・公）

意見発表

湊 貴美男（秋 田・公）

西野 勝義（愛 知・労）

松田 二郎（東 京・使）

その後、「労働紛争の多様化と労働委員会の新たな役割」と題して、山川隆一氏（前中央労働委員会会長）による講演が行われました。

午後からは、第三議題として「労働施策総合推進法の全面施行を踏まえた、労働委員会におけるパワーハラスメントに係るあっせん事件への対応について」（関東ブロック公労使提案）の経験と見解の交流が行われました。

提案理由説明

宮田 逸江（静 岡・公）

意見発表

藤井 正大（京 都・公）
大槻 光政（福 島・労）
梶原 弘司（愛 知・使）

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、岩村会長の閉会挨拶をもって総会は終了しました。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に鹿士眞由美委員（中労委・公）が、副運営委員長に村田毅之委員（愛媛・公）がそれぞれ選出された後、令和5年の総会に関する事項等について、協議が行われました。



全国労働委員会連絡協議会 岩村会長による挨拶



小林厚生労働審議官による厚生労働大臣挨拶代読



荒木運営委員長による運営委員長報告



山川隆一氏による講演



総会の様子（第一議題による交流時）